

## 商店街店舗活性化支援業務委託提案内容に係る評価基準

評価項目		評価内容	配点
事業目的の理解度及び基本的な考え方	事業目的の理解、考え方	・商店街が抱える課題を把握し、正しい方向性で事業に取り組むことができるか。また、本市の事業目的等を理解し、根拠のある支援の方向性、考え方が示されているか。事業目的に沿った提案となっているか。	10
事業の内容	未活用店舗の調査・実施	・仕様を満たす調査体制と実施方法を具体的に提案しているか。 ・効果的な調査の実施方法を提案しているか。 ・課題分析の分類、困難度の判断基準、優先順位付けについて有効な提案がされる見込みがあるか。	25
	未活用店舗の解消に向けたプラン策定及び伴走支援	・具体的な相談内容を想定したうえで店舗所有者が相談することのできる実施体制になっているか。 ・伴走支援を実施するための各種専門家との連携体制に妥当性があるか。 ・伴走支援の内容はプランの実現性の高いものとなっているか。	15
	商業者育成塾の企画実施	・参加対象者が必要とするセミナーを提供できる提案となっているか。 ・効果的な募集方法、内容、実施場所等について参加しやすい提案となっているか。 ・進行について会場でのサポートを含めた運営案は、妥当性のある提案がされているか。	10
	商店会活動の強化に向けた情報提供	・商店街活動に対し広範な知識を有し、有意義な情報提供を行える提案とされているか。	5
	独自提案	・効果的な独自提案があるか。	5
	実現性の担保	類似業務の実績	・未活用店舗調査、出店者支援、セミナーの開催など、類似分野での活動実績を有しているか。
実施体制	事業の実施体制	・事業を適正かつ円滑に遂行できる実施体制となっているか。 ・提案された事業規模に対して、役割、人員数等体制の構築が適切であるか。	10
	スケジュール	・具体的かつ実施可能なスケジュールが設定されているか。 ・効率的かつ効果的に事業を進めるためのスケジュールとなっているか。	10
経費	経費の妥当性	・経費として妥当か。	5
		合 計	100

(注) 評価委員の採点が平均で60点未満の提案は特定しません。